

15. 学術委員会報告

日本数学会国際研究集会(MSJ-IRI)について、報告します。

(学術委員会委員長 中島啓記)

2005年度第14回日本数学会国際研究集会 「漸近解析と特異性」 (Asymptotic Analysis and Singularity) についての報告

組織委員会：堤 誉志雄（組織委員長，京大），小園 英雄（副委員長，東北大），柳田 英二（東北大），田中 和永（早稲田大）

主催：日本数学会，東北大学大学院理学研究科

後援：独立行政法人 日本万国博覧会記念機構，財団法人 川井数理科学財団，財団法人 仙台観光コンベンション協会

会場：仙台国際センター（仙台市）

開催日時：2005年，7/18（月）～ 7/27（水）

参加者：150名

国内参加者：126名

国外参加者：24名

問い合わせ先：

仙台市青葉区荒巻字青葉 東北大学大学院理学研究科数学教室

小園英雄

電話：022-795-6401(数学事務室)

e-mail：kozono@math.tohoku-u.ac.jp

上記研究集会が，

「現在の解析学におけるキーワードの一つは，"concentration"であろう。色々な状況で様々な量がconcentrateすることにより，解が爆発したり，変分問題が最小値を達成しなくなったり，あるいは極限移行ができなくなったりする。これは広い意味での特異性であり，それを解析する有力な手法が漸近解析である。今回，解析学の様々な分野で研究対象となっている問題を，漸近解析と特異性という観点から眺め，分野を超

えた国際研究交流を図る。それとともに，大学院生や若手研究者に，最先端にいる研究者による入門的講義を提供する。」

の目標を掲げ開催された。具体的には，以下の4名の講演者が，それぞれのテーマで解説的な連続講演を行いました。

1. T. Tao(University of California, Los Angeles, USA): Global solutions of critical geometric nonlinear wave equations
2. D.-H. Chae (Sungkyunkwan University, Korea): On the incompressible Euler equations and the blow-up problem
3. W.-M. Ni (University of Minnesota, USA): Concentration phenomena in semilinear equations and systems
4. B. Fiedler (Freie Universität Berlin, Germany): 1. Dynamics of reaction and diffusion, 2. Bifurcation without parameters

さらに，以下の23名の方々に，招待講演として最新の研究成果を発表していただきました。

K. Nakanishi (Nagoya University),
T. Ozawa (Hokkaido University)

T.-P. Tsai (University of British Columbia),
M. Vishik (University of Texas at Austin)

T. Funaki (University of Tokyo),
T. Iguchi (Tokyo Institute of Technology)

F.-H. Lin (Courant Institute),
S. Doi (Osaka University)

A. Rendall (Max Planck Institute for Gravitational Physics),
M. Toda (Ochanomizu Women's University)

H. Kubo (Osaka University),
T.C. Sideris (University of California, Santa Barbara)

T.J. Kaper (Boston University),
A. Tesi (Universita di Roma)

F. Hamel (Universite Aix-Marseille),
N. Koiso (Osaka University)

H. Kokubu (Kyoto University),
B. Buffoni (Ecole Polytechnique Federale)

T. Suzuki (Osaka University),
C.-C. Chen (National Taiwan University)

T. Ogawa (Osaka University),
C.-F. Gui (University of Connecticut)

X.-B. Pan (East China Normal University)

その他に、73の一般講演がありました。
より詳しくは、以下のホームページをご覧
下さい。

<http://www.math.tohoku.ac.jp/~aas/>

また、報告集は日本数学会の Advanced
Studies in Pure Mathematics のシリーズ
から刊行される予定です。

(組織委員会委員長 堤誉志雄記)